

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面

◇ 5・3兵庫憲法集会
◇ 兵高教・今後の主な日程 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人：西村恭介 編集：兵高教書記局

教員免許更新制廃止

=5/11 参議院本会議において「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」が可決・成立=

5月11日、「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」が参議院本会議において可決・成立し、第一次安倍政権下の法改正に基づき、2009年から導入された「教員免許更新制度」がようやく廃止されることになりました。

一教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」には、普通免許状及び特別免許状を有効期間の定めのないものとすることや、研修等に関する記録の作成・指導助言等を任命権者に義務づけることが記載されています。また、改正法の施行日については、教育職員免許法を2022年7月1日、教育公務員特例法を2023年4月1日としています。

これまで日教組は、教員免許更新制が教員の時間的・経済的負担になっていること、産育休代替などの人員確保の妨げになっていること等の課題を指摘し、学校における働き方改革や、子どもたちのゆたかな学びを保障する観点からその廃止を求めてきました。とりわけ「廃止の方向性」については、法律施行後の更新講習受講免除や、4月～6月に修了確認期限を迎える教員の免許が失効しないための対応等について文科省協議を続けてきました。

本法案の審議では4月1日に、瀧本司日教組中央執行委員長が参考人として衆議院文部科学委員会に招致され、教員免許更新制の廃止を歓迎するとともに、教育公務員特例法について、「期待する水準の研修とは何か」「研修受講履歴等に記録される研修は何か」「研修受講履歴と人事評価はどう関係するか」「今の学校で教員が学び続けることができるのか」等について、方向性を明らかにするよう意見を述べてきました。

また、研修については日政連議員等と連携して「現場の教職員は校内研修等すでに十分研修を行っており、希望する研修が受講できるよう、業務削減をはじめとした環境整備が不可欠であること」等を求めて国会対応を行ってきました。その結果、「教員が研修の参加への時間を確保するため、学校の働き方改革の推進に向けて実効性ある施策を講ずること」「オンデマンド型の研修も含め職務としての研修は正規の勤務時間内に実施され、教員自身の費用負担がないことが前提であること」について、文部科学省は周知徹底すること

第93回兵庫県メーデー神戸中央大会中止
4月29日(金)10時から、神戸大倉山野球場にて第93回兵庫県メーデー神戸中央大会の開催を予定していましたが、当日荒天の予報のため、中止されました。今回のスローガンは「一人ひとりが尊重される多様性を認め合う社会をめざしみんなが輝く未来をつくらう!」でした。また、式典のほかにウクライナ支援に向けてのカンパ募金やフードドライブのとりくみなどを予定していました。

メーデーは1886年5月1日、アメリカの労働者が「8時間は労働に、8時間は休息に、そしてあとの8時間は自由な時間のために」を求めてストライキに立ち上がったのが起源です。当時、アメリカの労働者は長時間労働と低賃金に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求でした。これをきっかけに世界の労働者は5月1日を「国際的な団結の日」と定め、1890年5月1日、第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。日本では1920年(大正9年)5月2日、第1回メーデーが東京・上野公園で開催され、以後毎年開催されていました。しかし、軍国主義の高まりの中、1936年(昭和11年)の「2.26事件」を契機に、メーデーは全面禁止されました。第二次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともに再開。労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、世界の恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきています。現在のメーデーは、アメリカの労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、たたえ合いながら、家族や地域のみならずにも楽しんでもらえる一大イベントとして全国各地で開かれています。

連合ウクライナ支援カンパ → <https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/no-war/donation.html>

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

兵庫県の教員をめざす方はぜひご参加を！

2022年度 第4回臨採者学習会 - 採用試験対策講座(4) -

6月11日(土) 13:30~16:30 神戸市教育会館 402号室

【内容】

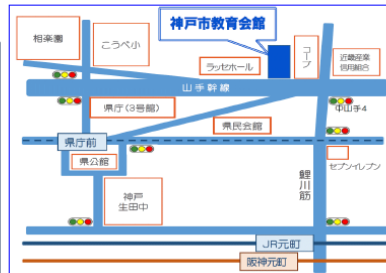
★ 一次試験・集団面接にむけて
(集団面接の練習を行う予定です)

◆どなたでもご参加いただけます。
資料代500円、組合員(当日加入者含む)無料。

感染症防止対策徹底のため、マスク着用・手指の消毒・検温等へのご協力をお願いします。WEB参加も可(お問い合わせください)。

お問い合わせは、兵高教書記局まで
JTU 兵庫高等学校教職員組合

神戸市中央区中山手通 4-10-5
神戸市教育会館 5階
TEL 078-261-0829
FAX 078-261-1094
hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp



兵高教・今後の主な日程

■TAC 採用試験対策講座

とき：5月28日(土) 9:30~11:30
ところ：神戸市教育会館 5階・書記局内
内容：集団討論 ※4/23 実施分の録画視聴になります。

■第4回臨採者学習会 ~教員採用試験対策講座(4)~

とき：6月11日(土) 13:30~16:30
ところ：神戸市教育会館 402号室
内容：一次試験に向けて(集団面接練習、その他)

■兵高教第36回定期大会

とき：6月25日(土) 13:30~16:50
ところ：神戸市教育会館 501号室
※各支部・専門部は6月9日(木)までに代議員の報告をお願いします。

★感染症拡大防止の観点から、昨年同様規模・時間を縮小して開催します。また、ハイブリッド形式で行いますので、代議員報告の際に参加形態(対面・Web)も併せてお知らせください。

憲法学習週間 ~憲法について学ぼう!~

兵高教では5月23日(月)~29日(日)を憲法学習週間とします。各分会に送付した職場討議資料(日教組新聞・号外、5/3 発行)等を活用し、憲法学習にとりくみましょう。

5・3兵庫憲法集会

5月3日(火・祝)13時より、みなとのもり公園にて5・3兵庫憲法集会が開催されました。3年ぶりに憲法記念日当日に屋外で開催することができ、会場には約3,000人が集まるとともに、YouTube ライブ配信も行われました。

ゴスペルシンガーの新井深絵さんのミニコンサート、主催者あいさつに続き、ジャーナリストの金平茂紀さんが講演し、ロシアの軍事侵攻直後にウクライナ入りし現地取材を行った経験にも触れた上で、「日本国憲法は制定から75年が経過した今もお世界で最も先進的である」と訴えました。



人権教育ひょうご 第25回総会

と き 2022年5月28日(土) 14:00 開会[13:30 受付]

と ころ ラッセホール5階 サンフラワー(オンライン参加も可)

※会場の定員は50人、オンライン参加(Zoom)の定員は100人です。

※開催方法については、感染状況により変更になることがあります。

いっそうの人権文化の創造をめざして

国連は、1995年から2004年を「人権教育のための国連10年」とし、人権教育の世界的規模での拡がりをめざしてきました。

わたしたち人権教育ひょうご(「人権教育のための国連10年」兵庫県推進連絡協議会)は、兵庫県に『「人権教育のための国連10年」に関する兵庫県行動計画提言』(99年6月)を提出し、県内行動計画の策定をもとめつつ、人権教育・施策の拡張をめざしてきました。

この間、「国連10年」は、その期限を終えました。しかし国連は、その締結にもとづき、2005年より「人権教育のための世界プログラム」を採択し、とりくみが続いています。

人権教育ひょうごは、引き続き、いっそうの人権文化の創造をめざしてまいりたいと考えております。

この兵庫の地で、**普遍的な人権文化の構築**をめざして、ともに行動しましょう!

第1部 総会

第2部 講演会

テーマ

「インターネットと部落差別
~差別を支えない一人となるために~」
講師 松村 元樹さん
(公益財団法人反差別・人権研究所みえ
常務理事兼事務局長)



★主 催★ 人権教育ひょうご(「人権教育のための国連10年」兵庫県推進連絡会)

(事務局団体) 自治労兵庫県本部 部落解放同盟兵庫県連合会 ひょうご部落解放・人権研究所
兵庫高等学校教職員組合(兵高教) 兵庫県教職員組合

(連絡先) 部落解放同盟兵庫県連合会

〈TEL〉078-222-4747 〈MAIL〉jinken10hyogo@gmail.com

古賀 ちかげ

子ども くらし 平和

日政連・第26回参議院議員選挙候補予定者



koga-chikage.jp



Twitter

兵高教は、教職員一人ひとりの働きかた、暮らしかたを支援しています。